



平成28年度 1月号

# 食育だより



大阪府立八尾支援学校

新しい1年が始まりました。今年も力を合わせて、安心・安全でおいしい給食作りに取り組んでいきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

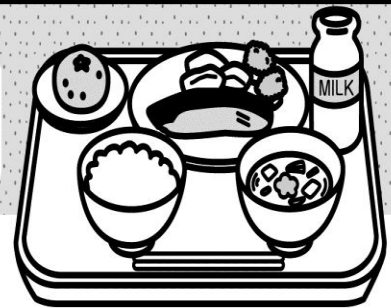
今の学年で過ごすのも残りわずか…「1月に行く、2月は逃げる、3月は去る」というように、この3か月間はいつも以上に時間が過ぎるのを早く感じる時期です。食事をしっかりとって、健康第一に過ごしてほしいと思います。

1月24日～30日は「全国学校給食週間」です。本校の全国学校給食週間は、小学部の児童、中学部・高等部の生徒からアンケートを行った中から「もう一度食べたいリクエストメニュー」を実施します。



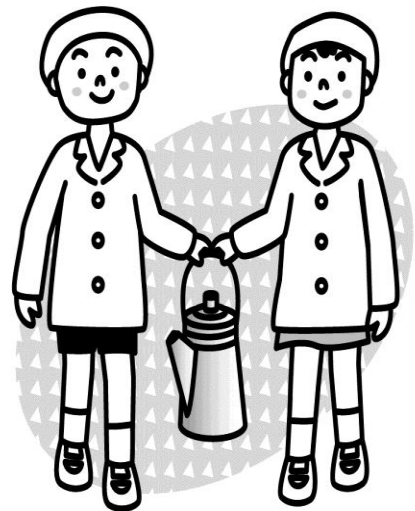
1月24日  
～30日

## 全国学校給食週間



### 学校給食の歴史

明治22(1889)年に山形県にある私立忠愛小学校で、貧しくてお弁当を持ってこられない子どもたちのために昼食を提供したのが始まりとされています。その後、全国へ広まりますが、戦争による食料不足のため、中止せざるをえなくなりました。



戦争が終わり、昭和22(1947)年に学校給食が再開されます。子どもたちの栄養不足を改善するため、外国の支援団体などから届けられた脱脂粉乳や小麦粉、缶詰などを使った給食が提供されました。

※昭和21年12月11日、文部、厚生、農林三省次官通達「学校給食実施の普及奨励について」が発せられ、戦後の学校給食の方針が定まりました。同年12月24日、東京、神奈川、千葉の三都県の学校で試験給食が実施され、この日を記念日としましたが、通常は冬休みのため、1か月後の1月24日からの1週間が「全国学校給食週間」になりました。

## 現在の学校給食



学校給食は当初、子どもたちを飢えから救い、栄養状態を改善するためのものでしたが、現在では、朝食欠食などの食習慣の乱れ、食べ過ぎや偏った食事による肥満、生活習慣病の増加が心配されることから、学校給食はさまざまなことを学ぶ“教材”としての役割を担っています。

### 学校給食の目標 ※「学校給食法」(平成20年6月18日改正) 第2条より

- 1 適切な栄養の摂取による健康の保持増進を図ること。
- 2 日常生活における食事について正しい理解を深め、健全な食生活を営むことができる判断力を培い、および望ましい食習慣を養うこと。
- 3 学校生活を豊かにし、明るい社交性および協同の精神を養うこと。
- 4 食生活が自然の恩恵の上に成り立つものであるということについての理解を深め、生命および自然を尊重する精神ならびに環境の保全に寄与する態度を養うこと。
- 5 食生活が食にかかわる人びとのさまざまな活動に支えられていることについての理解を深め、勤労を重んずる態度を養うこと。
- 6 わが国や各地域の優れた伝統的な食生活についての理解を深めること。
- 7 食料の生産、流通及び消費について、正しい理解に導くこと。



毎月19日は  
食育の日

## かみかみメニューの給食

1月19日(木) こんだて

- ごはん
- とびうおのからあげ
- 根菜の煮物 カレー風味
- 白菜とあげの味噌汁
- 牛乳



魚の「とびうお」と「煮物」の「れんこん」「ごぼう」「こんにゃく」がカミカミの食品です。給食時間はいつもより「よく噛む」ことを意識するように取り組んでいます。ご家庭でも声掛けをお願いします。

